



～通行車線配置の見直しによる整備効果～

国道46号 ^{たてさか}館坂交差点 車線運用変更

雫石方面からの交差点滞留時間が約3割短縮しました。

国道46号盛岡市前九年一丁目地内の館坂交差点は、県道との5差路交差点であり朝・夕に著しい渋滞が発生しています。

近年、盛岡西バイパスや盛岡駅西側の都市計画道路の整備に伴い、雫石方面から館坂交差点で右折する車両が減少している状況の一方で、雫石方面から二戸方面の左折車両による直進車両の進行阻害によって渋滞を招いている状況にあったことから、2車線ある右折レーンを1車線にするとともに、直進レーンと左折レーンを単独で設ける車線の見直しを行いました。

平成26年3月22日に新たな車線運用を開始してから約2ヶ月が経過し、通行車線見直しによる効果をとりとまとめたのでお知らせします。

- 交差点滞留時間が約3割短縮（平日朝の混雑時）
- 交差点通過に5分以上要する時間帯が半減
（平日朝7時～9時の時間帯で）

<発表記者会:岩手県政記者クラブ>

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局

岩手河川国道事務所 電話019-624-3131(代表)

副所長(道路) ^{かめ い} 龍井 ^{まさ 悦} 督悦 (内線205)

交通対策課長 ^{かわ むら} 川村 ^{のぶ ひこ} 信彦 (内線471)

館坂交差点の通行車線配置の見直しについて

(平成26年3月22日変更)

- ① 通過時間が約3割短縮
- ② 渋滞発生時間帯が半減



見直し前

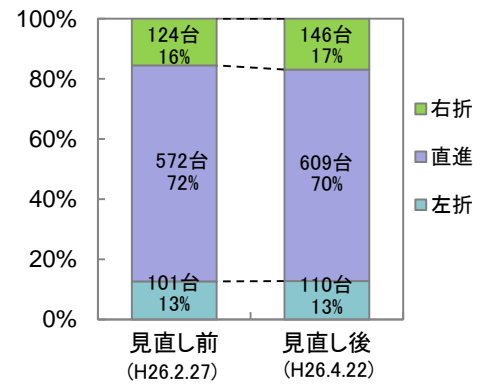
- ◆ 直進車両が約7割を占め、左直レーンで渋滞発生(左折時の直進阻害も影響)
- ◆ 約2割の右折車両に対して右折レーンが2車線確保されており、余裕が生じていた



見直し前の交差点の状況(H24.10.11撮影)

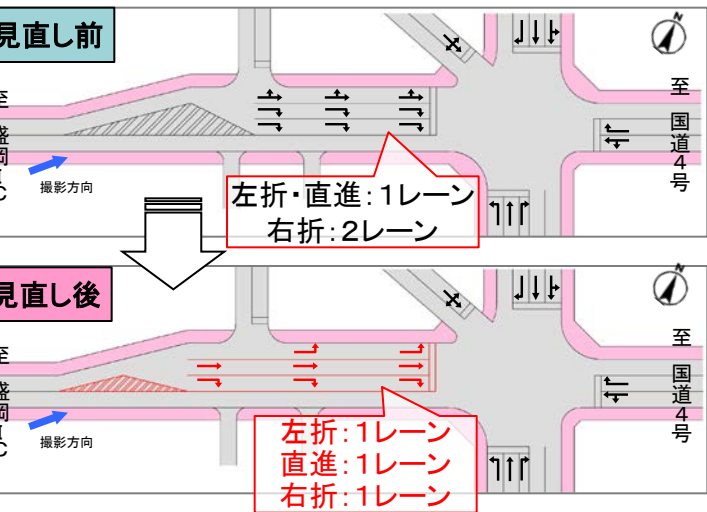
※ 交通量・方向比率は、見直し前後でほぼ変化していない

▼ 朝混雑時(7:00~9:00)の方向比率



直進・右折・左折の交通量の割合を考慮し、車線配置の見直しを実施

整備内容: 通行車線の見直し



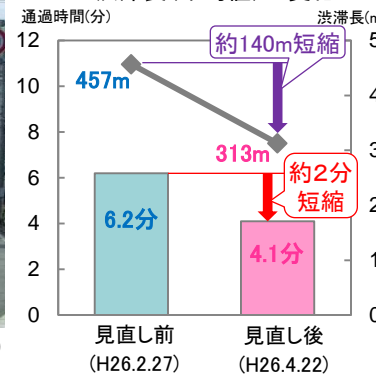
見直し後

- 【朝混雑時(7:00~9:00)の改善状況】
- ◆ 車線配置の見直しにより、各レーンが適切に利用されるようになった
 - ◆ その結果、渋滞長が約140m(約3割)短縮、滞留時間は約2分(約3割)短縮
 - ◆ 交差点通過に5分以上かかる時間帯が、90分程度から50分程度に短縮



見直し後の交差点の状況(H26.4.22撮影)

▼ 朝混雑時の交差点通過時間・渋滞長(平均値)の変化



▼ 交差点通過に要する時間の変化

